

教材教具名 あめのワルツ	教科（音楽）	
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい 音楽に合わせて、教師に体をやさしく触られることを、楽しんだり期待したりすることができるようになる。</p> <p>2 発達段階など 学年音楽で使用。（ふれあい遊びを楽しむ段階の児童から、期待感や見通しをもって音楽を楽しむ児童まで、学年のどの児童に対しても使用。）</p> <p>3 使い方 全教師が手袋を両手にはめて、歌詞の「僕の頭（肩、おなか、足）にピットントン」に合わせて、児童の体にやさしく触れる。また、歌詞「あめ、あめ、あめ、あめがふってくる。」では、児童の目の前で上下に動かすなど、雨のイメージを膨らませたり、期待感を高めたりするようにする。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p>		
<p>○ただ音楽に合わせて児童の体に触れるよりも、いつもと違う感じを児童が楽しんでいた。</p> <p>○目の前に雨の粒がゆれることでイメージをもったり、児童によっては期待感を高めたりして楽しんでいた。</p> <p>○「みずたま～」などの発言が聞かれ、授業以外の場面で実際に雨が降っているときにも「みずたま～」と苦手だった雨を楽しむ様子もあった。</p> <p>○感覚的に過敏で体に触れられることが苦手な児童も優しく触れられることで、素材の感触を楽しんでいる様子が見られた。</p>		